

# 第2次白鷹町健康増進計画 元気ニコニコしらたか21

## GENKINIKONIKOSHIRATAKA 21

今回は、計画に基づいて実施する「元気いっぱい子どもの健康づくり」の今年度重点事業についてお知らせします。

問 健康福祉課健康推進係 ☎86-0210

### ○子どもの肥満

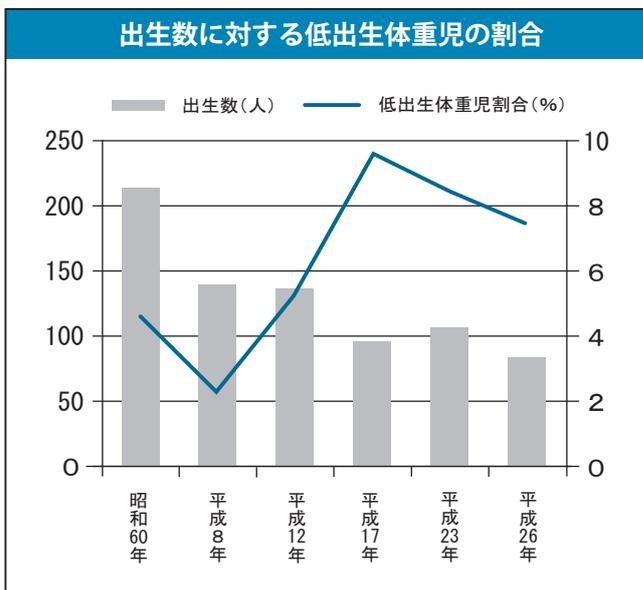
文部科学省『学校保健統計調査』平成27年度速報値によると、山形県は肥満傾向児の割合が、調査対象全年齢において全国平均を上回っています。子どもの肥満は大人になってからの肥満にもつながり、さらには生活習慣病になる確率が高いことがわかっているため、早いうちから家族全体で生活習慣病予防に取り組む必要があります。

### ○早産と低出生体重児\*の増加 \*低出生体重児…出生体重 2500g 未満の児

肥満傾向の子どもが増加する一方で、思春期にある女子でやせ願望をもつ者の割合が全国的に増加しています。ダイエットによる低栄養状態はこころの健康をむしばむとともに骨量の減少や不妊、低出生体重児の出生といった将来的な健康に影響します。

低出生体重児の割合は全国的に増加しており、町でも約1割程度の低出生体重児が生まれています。胎児期の低栄養による発育不全は将来、生活習慣病になりやすく、低出生体重児の増加には、妊娠前のやせ、妊娠中の体重増加不良、喫煙・飲酒習慣、妊娠期の異常（早産・妊娠高血圧症候群など）、若年・高齢出産などが影響しています。特に白鷹町は母子健康手帳交付時の調査で妊娠前の母親の喫煙率が32.1%と高いことがわかっています。また、低出生体重児は県内でも置賜地区で多く、平成26年の保健所の調査の結果、「妊娠前からやせている」「自宅から分娩場所までの移動時間が長い」「低出生体重児の出産経験がある」といった要因が関わっていることがわかりました。

低出生体重児の一因となる早産の中でも、山形県では特に早い時期（妊娠24週まで）に出産する割合が全国に比べて高い状況にあります。早産で生まれた子どもは未熟なまま生まれてくることが多く、病気や障



がいが見られる可能性があります。

そのため、健やかに胎児を育てるためには妊娠前から飲酒・喫煙習慣を見直し健康的に過ごし、妊娠期間にも正しい知識のもとでバランスのとれた食事と十分な睡眠や休養をとり、あわせて定期的に妊婦健診を受けることが大切です。

#### 新規

### 1. 子どもの健康づくり健診事業

小学5年生と中学2年生を対象に、小児科医療機関において、問診、身体計測、血液検査を無料で実施し、からだの状態を調べます。生活習慣病に関わる項目で基準値を超えた場合には保健師、栄養士が生活習慣病予防のために、家族で今何ができるか情報提供して支援いたします。対象となる方には6月頃にご案内いたしますので、この機会にぜひ、受診ください。

#### 拡充

### 2. 妊婦健康診査事業『超音波検査』

妊婦健康診査で、早産を予防し、健やかな妊娠と安全な出産を迎えるために必要な超音波検査（4回）を実施し、費用を助成します。併せて、日頃の体調管理も十分に行いましょう。

#### 新規

### 3. 妊婦歯科健診事業

妊娠中は、つわりによる口の中の手入れ不足や妊娠に伴うホルモンの変化でむし歯や歯周病が進行しやすくなります。妊娠中の歯周病は早産や低出生体重児の一因となるため、その予防を目的としてマタニティクラスの中で歯科医師による無料歯科健診を行います。生まれてくる子どものためにこの機会に家族みんなで歯の健康について考えましょう。